



令和7年度

学校経営の全体構想

安八町立牧小学校

【地域連携】

- ・地域とともに児童を育む学校づくり
- 地域ぐるみで児童の健全育成を推進する地域コミュニティの強化
- 牧の子育て隊・スクールサポーターとの協働による児童支援

【学校の課題】

- ・基礎・基本の確実な習得と対話的な学びによる活用力の育成
- ・豊かな感性とたくましい行動力の育成
- ・仲間とともに進める心の醸成と体力の向上
- 児童の主体的な特別活動の充実と日々の生活における人権教育の推進
- 各教科の見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力を発揮できる授業
- 自分のよさを自覚し、仲間とともによりよい生活を創造できる自治活動
- 自己の健康や安全について考え、主体的に行動できる日常生活

【安八町の教育の方針と重点】

- ・一人一人に生きる力」を育む指導の充実
- ・自他の生命を尊重する心や規範意識を養う指導の充実
- ・学校の教育目標の具現に徹する学校経営の推進
- ・ふるさとを愛する心と態度を育てる指導の充実

【学校の教育目標】 心ゆたかに たくましく 生きぬく子

考える子（自立力）

【自ら学び、深く考える力】

- ・基礎・基本の確実な習得と対話的な学びによる活用力の育成

助け合う子（共生力）

【協働の感動体験から育つ心】

- ・豊かな感性とたくましい行動力の育成

きたえる子（創造力）

【進んできたえる心と体】

- ・仲間とともに進める心の醸成と体力の向上

「自分の言葉で語れる」児童の育成に基づいた学校経営

知(学び)の柱	徳(生活・心)の柱		体(健康・安全)の柱	縁(地域)の柱
○「学びの楽しさ」を着眼点にした主体的・対話的に学び深める授業の実現 ○ICTを活用した未来志向の学び方改革の実現 ○読書に親しみ生き方を見つめる	○「たんばほカード」を大切にした人権教育の推進 ○自己有用感・自己肯定感を高める (「チャレンジ宣言」「学級チャレンジ宣言」) ○異年齢集団活動の充実	言語化 Plan	○基本的生活習慣の定着 (早寝・早起き・身支度・歯磨き) ○基礎体力の向上を図る (中休みの全校グラウンドでの遊び) ○もくもく掃除の徹底 ○情報モラルの定着と実践	○家庭・地域への積極的な情報発信 (HP・学校・保健・図書・学級だより等) ○地域の関係諸機関との積極的な連携(牧の子育て隊等) ○ふるさと教育の充実 (牧の歴史文化風土産業等に触れる)
☆ねらいを明確にした授業 ☆対話的な学びを位置づけた展開 ☆話し方・聞き方の徹底 ☆段階に応じたICT機器の活用 ☆生活に根差した読書活動の位置づけと生き方につながる指導	☆児童会を中心にした自治的活動の創造と充実 ☆「チャレンジ」「学級チャレンジ」の宣誓と継続的な取り組み ☆なかよし班活動・学年部活動・登下校班活動の充実	具体化 Do	☆「早寝・早起き・朝ごはん」「身支度・歯磨き・情報モラル」について全学級で指導 ☆もくもく掃除の徹底 ☆情報モラル講話・日々の情報モラル学習の実施	☆学校・学年だよりの定期的な配布とHPの充実 ☆地域との連携協力 (牧の子育て隊・PTA・子供会等) ☆学習用HPの活用(ふるさと学習・総合的な学習の時間)
◎定期的な確認テストの実施 ◎「全国学調」「学校アンケート」等による客観的データの分析による課題の明確化と授業改善 ・自分の考えが伝わるよう工夫 85%以上(学調) ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めた(学びたい) 85%以上(学調)	◎児童会・委員会の達成目標の設定と分析 ・学期に宣言の1つ以上の達成 100% ◎「心のアンケート」「学校アンケート」の実施と分析 ・いじめを許さない態度で取り組む 100%(学ア) ・仲間を大切に互いのよさを認め合い支え合う 80%(以上学ア)	振り返り Check	◎保健だよりの配布とPTA・家庭との連携と振り返り ・毎月の発行 100%とPTAとの連携 ◎学校保健安全委員会での協議と助言 ・安全に学べる環境づくりを努める 80%(以上学ア)	◎CS運営協議会での助言と「学校アンケート」等による客観的データの分析による課題の明確化と改善 ・学校・学級だよりの毎月発行 100% ・教育目標等を分かりやすく伝える 85%(以上学ア) ・家庭地域として連携した教育活動 80%(以上学ア)
◇各教科の課題を明確にし、個別のフォローアップ学習の計画実施 ◇タブレットを活用した家庭学習との連携	◇児童会・委員会の振り返りと「心のアンケート」「学校アンケート」の結果から課題を明確化し、学年ごとの指導に反映	改善 Action	◇振り返りや協議・助言をもとに課題を明確にした活動の改善 ◇各家庭との連携を進め、個別の指導支援の実施	◇助言やアンケート結果から地域連携にかかわる意識と実態を明らかにし、改善策の方向の提示と実施

児童・保護者・職員による「学校評価アンケート」及びコミュニティー・スクールの助言を基にした学校経営

【目指す教師像】

- ・常に研修研鑽に励み、指導力の向上を追求する教師 (教育専門職としての資質の向上)
- ・児童に寄り添い、一人一人のよさを理解し、伸ばすことができる教師 (人権感覚と共感的な姿勢の効用)
- ・誰に対しても心配りができ、他者の考えを謙虚に受け入れることができる教師 (笑顔を絶やさない素直な人間性)
- ・進んで同僚・児童・保護者・地域の方と対話し、傾聴・共感する中で自分を表現できる教師 (豊かなコミュニケーション能力の向上)



牧小アクティブスクール理念

「自分の言葉で語れる」児童の育成サイクル

願い・目標の言語化

「チャレンジ」「学級チャレンジ」の宣誓

願い・目標

P l a n

認識・改善

A c t i o n

実践

D o

振り返り

C h e c k

目標の数値化と具体化

「目標を数値化」「具体像」をもとに振り返り

繰り返す

「何を」「どうする」を明確化

方途の具体化

できたことの自覚化
できた事実を自覚させ、
更なる挑戦や改善

やってよかった！・学んでよかった！
自分に自信がもてる。（自己肯定感・自己有用感）